



神戸市会議員



岡田ゆうじ

自由民主党神戸市会議員団市政報告

2021.4

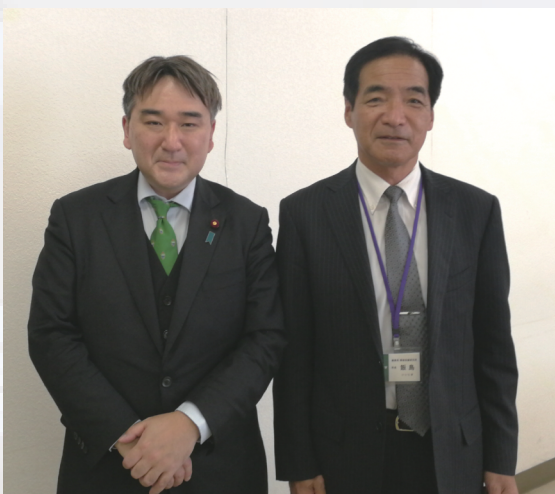
No.34

変異株の増加

これまでの市民・事業者のみなさまのご協力により、新規感染者数が減少傾向にあるほか、医療提供体制も徐々に改善してきています。一方で、神戸市内で**変異株の発見数が増加**してきています。変異株の対策については、現時点で特別な方策はありません。**変異株に対しても、3つの密の回避、マスクの着用、手洗いの徹底**といった、従来の感染予防が有効であり重要、というのが専門家の大方の意見です。

そして、神戸市として、変異株の状況をしっかり調べるため、全国でもトップレベルの積極的疫学調査を、国による要請がある以前から、**市立健康科学研究所(健科研)**では行なっています。3月20日に、私は全国でずば抜けて変異株検査・ゲノムサーベイランス(解析)数の多いこの健科研について視察をしました。

国からの要請では全検体の約5～10%を検査するよう求められているのに対し、わが市の健科研では**なんと60%に相当する数の検体を検査**しています。その結果、変異株の詳しい分布等の疫学調査が可能となり、多くのコロナ対策の示唆を得ることができています。



「変異株調査最先端」の神戸市健科研
飯島義雄所長と岡田ゆうじ議員

2009年の際にも、本来必要なかった検査により、高校生から新型インフルエンザを発見し、**神戸まつりの即時中止と、感染大爆発の未然防止を果たした実績**のある健科研。神戸市民の安全と安心を守って下さる精鋭が揃った、全国に誇れる機関です。

新型コロナウイルス「変異株」の増加について

○分化員 (岡田ゆうじ) 昨日 (3月2日) 国会で、**神戸の変異株が非常に増加をしている**ということが議論され、中継でもやっておりました。

改めまして一昨日の市長の記者会見を分析をしますと、1月の29日から2月4日までは173件の検査中8件だったのが、2月の第2週は105件のうち11件が変異株だったと。12日から18日の次の週になると、79件中の12件が変異株。**特にE484K変異株というのがさらに増えている**と。

1月の終わりの段階では、173に対して8ですから、4~5%だったのが、2月の第2週には大体10%を超えるようになって、直近では、E484を入れても入れなくても**15%から20%ぐらいの数字になっている**。

更に市長が一言さらっとおっしゃったのは、**直近の検査では半分近くが変異株だ**ということもおっしゃられました。昨日の国会の審議もあって、神戸だけがすごい変異株が集まってきてるんじゃないかと。我々どうしたらいいのかと。割合も増えているということは、**これから神戸市では変異株が蔓延するのかと。大変市民が不安に思っているわけでありますが、現段階で分かっていることを、市民と議会にシェアをしていただきたい**。



岡田ゆうじ

○花田健康局長 まず、この変異株が神戸で多いという理由が2点あります。1つが、私どもの健康科学研究所の検査能力が非常に優れてるので、それと、検体を保健所がたくさんいろんな検査機関から集めてきてるので、**検査数が多いので、発見をできてしまっている**ということが1点です。

もう1点、感染者数が減少してる中で、変異株の人たちを見つけたら、濃厚接触者の検査を全員します。そうしたら、家族の中でうつってる可能性が高いです。**全体の感染者数が減ってる中で、濃厚接触者まで検査をすると、必然的に変異株の割合というのは上がってくる**ことになるので、です。100人ぐらいが発生している中で言うとそこまでじゃないのが、今、1桁台とかでしたら、当然、率が増すと。

少し詳しく説明しますと、この変異株を検査するために、健康科学研究所で検査した検体だけでなく、市内の医療機関で検査した検体も、保健所を通じて健康科学研究所に集めてゲノム解析を行っていました。その仕組みを利用して変異株のゲノム解析も行うようにしていったらということ、全体で集めてる市内の感染者数のサンプルでいきますと、**全体の6割をカバーしてゲノム解析を行ってる**。一方、国が各地方検査所に求めているパーセンテージは、全体の5%から10%程度。全然割合が違うということ。

市内で変異株が増えていってるのは間違いないと思うが、「5割」の言葉が独り歩きするというのは少しいかがなものかなと思いますので、我々は、先ほど申し上げた説明とともにメッセージを出していきたいというふうに思っています。



花田裕之
健康局長

